



こんにちは。株式会社 SPI あ・える倶楽部の篠塚千弘です。

たくさんの方のみなさんの「こころの旅」にトラベルヘルパーが一緒しています。旅行に行きたい！と、思っている、ご本人もご家族も、泊まる場所はバリアフリー？、食事は大丈夫？、移動はどうしたらいいの？など、先走って心配したり不安になって、やっぱり無理だね。。と自己完結しがちですが、「どこに行きたい」「〇〇をしたい」「誰々に会いたい」を、まずは、あ・える倶楽部にお伝え下さい。

トラベルヘルパーは、トラベル+ヘルパーだから、「旅行と一緒に連れてくれる人」と思いがちですが、トラベル（旅行）とヘルパー（介護）、両方の知識と経験をもって外出の困ったを解決する「外出支援専門員」です。バリアフリーだから行こうではなく、その方にとってのバリアをどうしたらバリアフリーにできるのか、を、ご提案して実行するのが、トラベルヘルパー。そのバリアがハード面でも、気持ちや理解不足のソフト面でも、どちらでも解決します。初恋の人に会いたい、あの場所にまた行きたい、孝行したい、、なんでもいいので、まずは「〇〇したい」を教えてください。トラベルヘルパーと一緒に夢を叶えましょう。

トラベルヘルパーと一緒に『介護旅行』

なつかしいふるさと会津若松へ 2泊3日の旅

お母様をふるさとに連れていきたいと、ご子息からご依頼いただきました。大田区のトラベルヘルパーセンターオーナーでもある手塚さんの介護タクシーで、東北道を会津若松へ出発です。会津が近づいてくると、いろんなことを思い出してお話しして下さいました。「あそこにはゆべしの製造元があるの。」「その空き地は昔料亭だったのよ。」
 2日目は観光とお墓参り。「鶴ヶ城にまた来れるなんて。」まあ、きれい桜の花にとてもうれしそうな様子です。お昼はうなぎ屋「えびや」です。「これこれ！この味。まさか、えび屋のうなぎが食べられるなんて夢のよう。お土産も注文してね。」その後、ご実家のお墓と、親戚のお墓にお参りされました。今日の一日は、お母様にとって本当になつかしい気持ちがぎゅーっと詰まった一日だったことでしょう。



トラベルヘルパー戸塚さんのスマイルレポートです。

お医者様から、ご家族の熱意をくんでとお許しの出た介護旅行でした。92歳のお母様に故郷の空気をすわせてあげたいと旅を計画されたご子息。お母様は大好きな故郷の食べ物も美味しい美味しいとたくさん召し上がりました。帰りの車の中でのお母様の言葉。「こんなに美味しい思い出をたくさん作ってくれてありがとう。えび屋（うなぎ屋）に行かれたなんて夢のようです。始めはみんなに迷惑かけるから悪いと思っていたけど、本当に行ってよかった。お墓のお父さんもびっくりしていたわね。まさか私が出来たなんて」こんな言葉を聞けることが最高の幸せです。また、思い出たくさん作りましょう。

ご旅行後、ご子息からメールをいただきました。

母は今回のことで自信がついたというか味をしめたというか、知人を誘ってまた行くんだと言っております。折を見てまた計画しようと思っておりますので、その節はまたよろしくお願い致します。

お母様の自信になったこと、また行こうという心の励みが増えたということ、なによりのお言葉です。こちらこそ、こんなに素敵なこころ旅のお手伝いをさせていただきまして、ありがとうございました。

ご息のご自宅訪問 ゆっくり家族団らん



前の晩は楽しみで眠れたかったの、、、とお母様。久しぶりにご息子と外出に笑顔がこぼれます。相模湾きれいっ！天気にも恵まれたわね。私晴れ女だから。そよ風も、ふりそそぐ太陽も、咲いている花も、みんな、うれしいご様子で、磯の香りを楽しまれました。

ご息子とご家族と過ごされる時間は、何を召し上がってもおいしい、目に入るものはみんなキラキラ輝いて、、、

「時間が止まっているように感じちゃう！」など、おしゃべりも弾みます。

竹内トラベルヘルパーのスマイルレポートです。

ご息のお家に泊まりに出かけることをとても楽しみにしておられ、施設の協力も頂き、ゆっくりと終始笑顔で過ごされていました。ご息子のお母様への想い、それに笑顔で応えられているお母様。母と息子の温かい愛に満たされた時間を共有させて頂き時間が止まってしるかのような感じをうけました。

次回のゆっくりと自然がいっぱいの気持ちいいご息子のお宅へのお泊り、楽しみです。



仲良しのお友達と 笑い声が絶えない熱海の旅

仲の良いお友達と、一足先に春を探しに熱海までご旅行されました。みなさんもうれしそうです。夕食後に一部屋に集まって、みなさんで昔話に花が咲き、話が止まらない、そして笑い声。本当に楽しそうでトラベルヘルパーの坂本さんもうれしくなった、と。

「二泊するとゆっくりできていいわね。食事前にゆっくりお風呂に入りましょう」と温泉をゆっくり楽しみました。お食事もおいしい。笑顔とおしゃべりが絶えない3日間でした。トラベルヘルパー坂本さんのスマイルレポートです。



今回も会社の同僚で長い間旅仲間だった方達との一年ぶりのご旅行でした。前回ご都合が悪くて参加できなかった方二名も加わりお話の途切れることないとても楽しい三日間でした。この熱海旅行では疲れがでないようにと二泊三日にしたためゆったりお過ごししていただくことができ、S様にも喜んでいただくことができました。皆さん気さくな方達でしたので私もお仲間に入れていただき楽しく一緒にさせていただきました。ありがとうございました。

←トラベルヘルパー坂本さんと

グループ介護旅行も あ・える倶楽部におまかせください♪

大型バスで横浜散策 春の遠足です

デイサービスのご利用者様とスタッフの方、総勢44名。車いす20台。大型バスで、横浜へ一日遠足です。リフト付き大型バスで出発です。車窓から、赤レンガ倉庫、横浜三塔、山下公園、みなとみらいを見学して、中華街でランチ。わいわいと賑やかにおいしいものを、みんなでいただくのは本当に楽しいですね。

レストラン入口に並ぶ車いすは圧巻。こんなにたくさんの車いすでみんなでお出かけできるって考えただけで、うれしいですね。(みんな

で外に出ましょう！)

そして、大賑わいの中華街を車いすで散策。お天

気がいいので、すごい混雑。久しぶりの人ごみをかき分けての散策もたまには楽し。山下公園へ。広い海と大きな船をバックに。横浜マリンタワーの展望から海を望む。春の一日、みんなで行った横浜を、めいっぱい楽しめました。

←山下公園 氷川丸をバックに集合写真



トラベルヘルパーと一緒に お出かけ日和

大好きな寅さんに会いに スカイツリーと柴又へ

五月晴れのある日、スカイツリーと柴又にお出かけです。今日のお出かけをととても楽しみにされています。人でごった返し状態のスカイツリーを後に柴又へ。寅さんの銅像の前で、寅さん(のそっくりさん)と写真を一枚。気分はもう「寅さん」です。帝釈天までの参道を散策し、ゑびす屋、高木屋を、見学しながら歩いて寅さん記念館に到着。ますます寅さん気分を盛り上げていきます。あこがれのとらやで寅さんにご対面。とらやで、ビールと天井でお昼です。ご一緒したトラベルヘルパー古矢さんのスマイルレポートです。



戦争孤児として激動の時代を生き抜いて来られた体験談は想像だに負えないものでした。今古希を迎えられ平和な日本で日々過ごされていますが、報道番組で戦争や爆弾・ミサイルの話聞くにつけ憤りを感じられるようです。学園では農作業の傍ら趣味のカメラで花の写真を撮り楽しんでいるとのこと。寅さん記念館では映画や登場人物の解説をしていただけました。寅さんが大好きなご様子。寅さんみたいな生活が理想??次はどこへ行こうかなあ、と思案顔。まあゆっくりと考えて下さい。

ひさしぶりのお出かけはドキドキ 各駅停車でスカイツリーまで

お父様が工事現場と電車が好きだから、押上の工事現場等を見せに連れて行ってあげたい。というお嬢様からの親孝行で夢を叶えるトラベルヘルパーサービスのご紹介です。京成の八千代台駅、京成船橋駅、京成高砂駅、京成曳舟駅、京成日暮里駅、、と京成線駅を順次見学しながら、スカイツリーを目指すというお出かけです。前の晩は、うれしくて眠れなかったそうです。遠足前、うれしくて眠れなかったこと、みんな経験がありますよね。ホームの様子、車窓からの町並みを、じっと見つめられ、「次は反対側も見たい。」と。「昔はこんなじゃなかったね。きれいになったね。」と。

一番前の車両から前の景色を見たい、とのご希望があり、柴トラベルヘルパーがお父様を支えながら進行方向を見ていただきました。その後、「後ろが見たい」とのご希望で、後ろの景色も見てください。「後ろの景色も面白いですね。」との柴トラベルヘルパーの問いかけに、「ハハハ～」と笑われます。金町線の高砂駅では「変わったなあ」と感慨深げ。ホームの端からの眺めがお気に入りです。トラベルヘルパー柴さんのスマイルレポートです。

過去に30回以上もヨーロッパへ電車を乗りこ旅行されたという大の鉄道好きなお客様。今回電車に乗るのは7年ぶりということで、緊張と興奮からか昨夜はよく眠れなかった様ですが、今日のご様子を見て長女様、「いつもより調子がいいみたい」との事。今回は以前よく利用されていたという京成線にご乗車。予定していた快速電車を見送って各駅に乗られ、じっくりと電車の旅を楽しまれました。ジッと真剣な表情で車窓からの景色を眺められるお姿が印象的で、お客様の強い思い入れを感じました。

途中立ち寄った工事中の曳舟駅にむかって「また来るよ！」と、手を振られていたそうです。ゆっくり、じっくり、各駅停車の旅を楽しんでいただきました。



★★ 事業部ヤスカワコラム「ゆるゆる通信」★★

小学1年生の姪っ子がケイタイを持ちました。私も、母（ばあば）も「まだ早い！」と言っていたのですが、ひんぱんに迷子になるから、という理由で持たせたそうです。子供用の小さいケイタイですが、メールも打てるらしく、私の誕生日に「おたんじょうびおめでとう（*^▽^）/」とメールをくれました。顔文字まで使って、かわいい奴め、とにんまりしてしまった「おばバカ」は私です。

トラベルヘルパー®は
介護・看護の資格を
持ち、旅先や外出先
での介護技術を学
んだプロの外出支援
専門員です。

お問い合わせは、
株式会社SPI あ・える倶楽部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-13トッパビル 10F

TEL 03 (6415) 6480

発行人：篠塚千弘
編集：事業部

FAX03(6415)6488 ホームページ www.aelclub.com